

令和元年度後期 START/START+プログラム一覧

※令和元年10月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学等	渡航期間/定員/ 参加費（*注）	主な研修内容（予定）	引率	宿泊場所	研修先大学等の紹介	研修先地域・都市の紹介
第67回 ベトナム戦争の痕跡と ホーチミン市の発展を体験する	2月12日（水）～ 2月27日（木） （15泊16日） 定員：24人 参加費：6万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆USSHの教員による授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム語入門 ・ベトナムの社会と文化、経済、ホーチミン市の歴史、戦争体験談、日越関係 など ・ベトナムの学生とのディスカッション（平和な世界を作るために私たちに出来ること、日本とベトナムの環境や学生生活の違いについてなど） ◆戦争関連施設等見学 <ul style="list-style-type: none"> ・戦争証跡博物館、統一会堂（旧南ベトナム政府大統領官邸）、カンザー自然保護区、クエトンネル、歴史博物館など ・日系企業、JICA訪問 ◆現地学生との交流、1日ホームビジット、孤児院訪問 ◆ホーチミン市内グループ研修 	教育学研究科 BABALOLA MICKY AMUNE 助教 ほか	大学から徒歩圏内の学生 宿舎（2人1部屋）を 予定	【ホーチミン市人文社会科学大学（USSH）】 http://en.homussh.edu.vn/ ベトナム国家大学ホーチミン市校（VNU HCMC）中の専門大学の一つ。ロシアやポーランド、アメリカ、オーストラリア、フィリピン、韓国、日本など世界中の様々な国籍出身の教員による18学系500科目の授業が行われています。USSHには日本語部があり、日本に興味を持って勉強している学生もたくさんいます。2010年11月に広島大学ベトナムセンターをUSSH内に開設しました。	【ホーチミンシティ】 ベトナム戦争終結後、1975年に解放されるまでは首都「サイゴン」として栄えたベトナム最大の商業都市です。フランス植民地時代のコロニアル様式の建物に代わり現在は高層ビルが増えましたが、市場や裏通りには昔々変わらない街並みも残っています。通りやロータリーはバイクであふれかえっており、経済成長の熱気を肌で感じられる都市です。
第68回 オーストラリアの多文化 社会	2月21日（金）～ 3月9日（月） （17泊18日） 定員：30人 参加費：15万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆プリンダース大学附属語学学校の教員による特別授業 <ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの直面する諸問題、歴史、教育 ・英語研修 ◆プレゼンテーション・ディスカッション技能の習得 ◆プリンダース大学の学生とのディスカッション・交流 ◆プリンダース大学の通常授業への参加 ◆現地小学校での日本文化紹介 ◆アデレード市内での研修（南オーストラリア博物館、ランドル・モール等） ◆アデレード周辺地域のエクスカージョン（ワイルドライフパーク等） ◆全期間ホームステイ 	教員未定	ホームステイを予定 （1～2人/1家庭） ※他国留学生と同家庭 の場合もあります	【プリンダース大学】 http://www.flinders.edu.au/ アデレード市街の郊外に位置する1966年創設の公立大学。大学名は、19世紀初頭にオーストラリアを船で周回し、この大陸を「オーストラリア」と呼ぶことに貢献した探検家マシュー・プリンダースに由来しています。革新的で質の高い授業内容と教授法に定評があり、宇宙飛行士の毛利南氏が行った研修を修了したこともでも知られています。学術、教育・人文、法学部、医、看護、健康科学部、理工学部、社会・行動科学部などで構成。移民と大洋の国であるオーストラリアを象徴するように、世界でも珍しい海洋考古学などの専攻もあります。世界100カ国以上から留学生が集まり、留学生約4,100名を含む約24,000名の学生が在籍（2014年統計）。なお、広島大学とは2008年から協定を結んでいます。	【アデレード市】 アデレードは南オーストラリア州の州都で、人口は120万人、国内5番目の都市。「自由移民」によってつくられた街です。都市名は19世紀前半の英国王妃の名に由来しています。計画設計都市であり、市街は整然とした格子状の街路と公園で構成され、ウィクトリア期のコロニアル様式の建築が多数残っています。中心部の歩行者街路「ランドル・モール」にはヨーロッパ風のアーケード街もあります。また、アデレードには、アポリジニの美術や工芸に関する世界のコレクションを誇る南オーストラリア博物館も存在し、文化施設も充実しています。郊外には、アデレードヒルズという美しい丘陵地帯、海浜リゾート地グレネルグがあり、自然に親しむこともできます。オーストラリアの野生動物の多くが棲むカンガルー島へのアクセスもこの街が基点となっています。
第69回 ニュージーランド-自然 との共生社会-	2月28日（金） ～3月16日（月） （17泊18日） 定員：30人 参加費：19万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆マオリ文化による歓迎儀式 ◆オークランド大学教員による特別授業・NZの歴史、教育、文化 ◆英語研修 ◆現地学生とのディスカッション・交流 ◆オークランド大学の通常授業への参加 ◆小学校訪問と日本文化紹介プレゼンテーション ◆オークランド市内のNZの歴史・文化に関する施設訪問による研修 ◆オークランド郊外の自然の中でアウトドア活動体験 ◆全期間ホームステイ 	教育学研究科 Brett Walter 講師 ほか	ホームステイを予定 （1～2人/1家庭） ※他国留学生と同家庭 の場合もあります	【オークランド大学】 http://www.auckland.ac.nz/ 1883年に創立されたオークランド市街に位置するニュージーランド最大規模の国立大学。2016-17年のQS世界大学ランキングは82位、国内で最上位の大学です。研究を主とし、その卓越した教育および社会への貢献で知られています。キャンパスは6つあり、教育、人文、法、経済・経営、芸術・芸術工学、工、理、神、医学・健康の9学部によって構成され、留学生6,010名を含む約44,000名が学んでいます（2014年統計による）。広島大学とは1979年から協定を結んでいます。	【オークランド市】 ニュージーランド北島に位置し、人口約150万人の商業地区を有するニュージーランド最大の都市。海に面した地形から海上交通が栄え「帆の街」という愛称で親しまれており、港には多数の小型漁船が停泊し、ハーバークルーズやセーリングが盛んです。オークランド博物館やホウィック歴史村など原住民や開拓民、戦争に関する施設があります。郊外には、オークランド市街と海が一望できる死火山イデンデン山やワン・トゥーリー・ヒル、市街地の対岸に位置する歴史的町並みの残るデボンポートがあります。
第70回 台湾の宗教と東アジア	3月1日（日） ～3月15日（日） （14泊15日） 定員：24人 参加費：7万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆台湾の寺院の参拝。 ◆台湾の原住民族と移民、そしてそれぞれの信仰、伝統文化と相互の融合を考える。 ◆中国語または英語研修（中国語クラスと英語クラス分けあり） ◆現地教員による講義 ◆国立中央大学学生との英語、中国語、日本語による交流。 ◆台湾南部地方への研修旅行（2泊3日） ◆文化体験研修 ◆台北市内グループ研修 <p>※輔仁大学で中国語研修（3月中旬～3月末頃の約2週間）が実施される場合、連続して参加することも可能（費用は別途7～8万円程度。プログラム実施の有無は後日揭示します）</p>	総合科学研究科 荒見泰史 教授 ほか	国立中央大学の学生宿 舎を予定	【国立中央大学】 国立中央大学は、1915年に中国南京で創立された南京師範高等学校を前身として、1962年に台湾で中央大学地球物理研究所として復活し、更に1979年に正式名称も国立中央大学と称され、高等教育と研究機関として誕生し、国立総合大学として現在に至っている。現在、文学、理学、工学、経営、保健科学等6つの学部と多くの研究所を有し、最先端の学術・研究を行っている国内トップクラスの大学として知られています。また、北米・欧州・アジアの世界180以上の大学を協定を結んでおり、広島大学とは2009年から協定を結んでいます。	【桃園市】 中華民国北西部に位置する、中華民国行政院の直轄市。台湾の中心的都市である台北市の西に位置しており、台湾の空の玄関口である台湾桃園国際空港が立地している。
第8回START+（プラス） カンボジアで学び実践する 国際教育協力（2）： 学生企画プロジェクト 「カンボジアにおけるイ ンクルーシブ教育モデル 学校の設立」に向けた現 地調査	2月18日（火）～3月 4日（水） （15泊16日） 定員：10人 （2・3年生対象） 参加費：6万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆カンボジアの教育関係諸機関を自分たちで調査する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育青年スポーツ省特別教育局 ・国立特別教育研究所（元国際NGO Krousar Thmey）、同特別学校 ・現地教員養成校附属学校、公立小学校学校、周辺コミュニティ 等 ◆カンボジアの教育や国際教育協力で活躍する人たちが学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・王立ブノンベン大学、ブノンベン教員養成大学（4年制） ・JICAカンボジア事務所 ◆カンボジアの学生たちとともにプロジェクトを構想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・現地学生（王立ブノンベン大学、ブノンベン教員養成大学）との交流・協働 ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ・シェムリアップでの歴史文化研修（世界遺産アンコールワット等の史跡訪問） ・ブノンベンでの平和学習（トゥール・スレン虐殺犯罪博物館訪問） <p>※一部「PEACE学生交流プログラム カンボジア・スタディツアー」との合同実施</p>	教育学研究科 桑山尚司 講師	ホテルを予定（2人/1 室）	【カンボジア教育・青年・スポーツ省（MoEYS）】 教育行政を司るMoEYSでは、広島大学で学位を取得した留学生が多数活躍しています。また、様々な広島大学教員が、JICAの理数科教育支援、NPOの教育行政大学院設置支援、広島県の社会科教科書開発支援等でMoEYSに協力してきました。2016年に包括協定を締結、2017年に連携センターを開設しました。	【フノンペン】 メコン川とトンレサップ川の合流点に位置するカンボジアの行政・経済の中心地。かつて「東洋のパリ」と謳われたフランス植民地時代の街並みは、長い内戦の歴史を経て、現在は同国の経済成長とともに建築ラッシュが続く。王宮とラバール・バゴダ、ワット・ブノン、国立博物館等ではクメールの文化と信仰を、トゥールスレン強制収容所、キリング・フィールドでは内戦の歴史と平和の大切さを感じることができる。
第9回START+（プラス） 欧州統合と自治・スペイン /カタルニアの政治・ 文化・芸術	3月22日（金）～ 3月26日（日） （16泊17日） 定員：24人 （1・2・3年生対 象） 参加費：15万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆URV教員による授業 <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語（レベルにより2クラス） ・カタルニア・スペインに関する授業（英語） ◆文化（モダニズム（ガウディ）・ユネスコ無形文化遺産としての地中海料理）・宗教と現在の生活、歴史（近代+カタロニアとスペイン）、ツーリズム（世界遺産とツーリズム）、ロマ王国とCivil Engineering等4-5のトピック ◆ワークショップ（毎日）スペイン人学生と授業内容・スペイン語レッスンについて（日本人学生4-5名に対しスペイン人学生1名） ◆スペイン内戦跡地での平和研修 ◆レウスでの研修（モダニズム建築） ◆バルセロナでのグループ研修 ◆全期間ホームステイ 	社会科学研究科 西谷元 教授 ほか	ホームステイを予定 （2人/1家庭） ※他国留学生と同家庭 の場合もあります	【ロビョーラ・イ・ビルジリ大学（URV）】 http://www.urv.cat/en_index.html 1991年にカタルニア自治州政府によって新たに設立されたカタルニア地方の名門公立大学。16世紀を起源とするタラゴナ大学の復活とされ、40以上の学部コースと50の修士課程コースとその後の博士大学院、そのほかにも生涯学習コースなどがあり、15,000人以上の学生が学んでいます。教育の質の高やその卓越した研究活動により、カタルニア地方だけでなくヨーロッパの中でもトップクラスの大学とされています。広島大学とは2015年から協定を結んでいます。	【タラゴナ市】 タラゴナはスペイン・カタルニア州タラゴナ県にあり、バルセロナの南約100kmに位置する地中海沿いの風光明媚な町です。古代ローマ時代は「タラゴTarraco」と呼ばれ、イベリア半島最大の都市として 君臨していました。今でも町あちこちにローマ時代の遺跡が残ります。それらは「タラゴの考古遺跡」として2000年にユネスコの世界遺産に登録されています。地中海の青い海を背にした円形競技場は、タラゴを代表する風景です。今日、良好に保存されている遺跡群からは当時の繁栄ぶりを窺い知ることが出来ます。人口は約11万人。

（*注）参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料、パスポート申請費、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い（食費含む）などがかかります